

特43

456

訂正
觀世流強内百拾番

老
松

一八

若松

第一二三四五六七八九十
定まらぬまゝの四方若松國ノ關

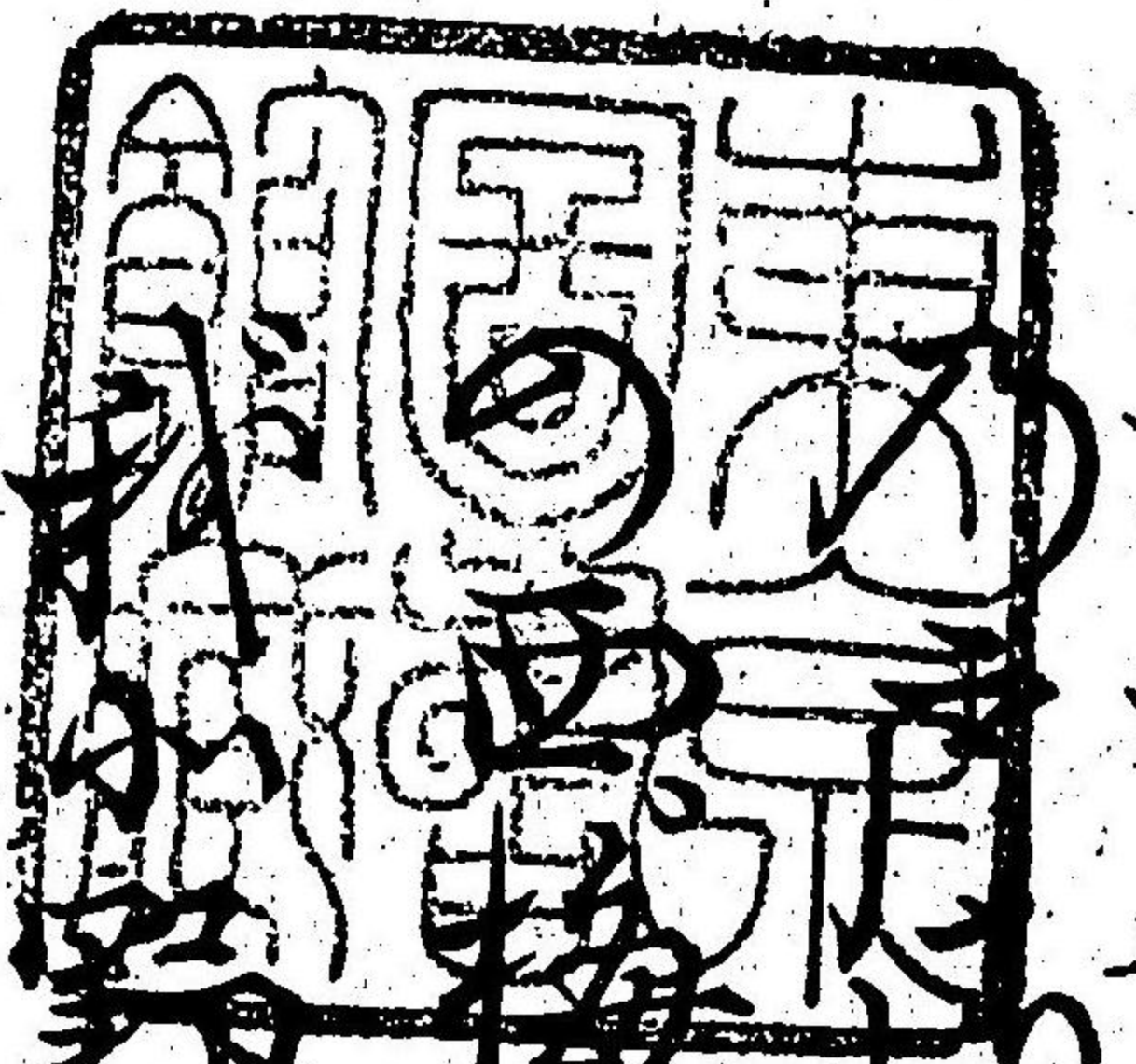
軍門 柞是之都

梅津乃行果はらうも也

常は信一常は歩三とさしこ

しる處は有てはたの志望又は新と信

きし築紫女樂寺の美侍中をさしこ



らよ清き夢をさめての向ふ
 九洲よ下向はるちか行はるもよ
 あはれ時のうぐだれも有る
 本すの國豊ある秋津洲の浪も
 木とあはるの海は廣唐土も
 あはれ調の音の東夏よ安樂寺あり
 梅の花は春を
 梅の花は春を

まてぬての身は梢の
 乃葉もあはるの深き緑
 う那の海をさしてはる
 羊のともやらの松の
 てあはるの四方の
 のめくもあはるの春めは
 歩むもあはるの宮寺の
 長

園上号の松の岩まき
 つよ言ウせしるヤウクチ數チ鳩チの首チも
 空下来下ありや此山下乃下の下あ下ま下き下る下雲下の
 少下く下え下ても下惜下まる下く下花下風下手下物下や
 ま下ら下し下守下梅下の下花下壇下い下ま下さ下らん下梅下比
 花下壇下い下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 花下壇下い下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 花下壇下い下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 花下壇下い下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下

今下行下く下も下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 梅下と下る下ま下の下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 愚下也下神下樂下の下唯下紅下梅下殿下と下社下あり下あ下り下ん
 う下ら下く下紅下梅下殿下を下戸下へ下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 詠下多下き下ま下り下ん下今下社下ま下と下花下松下の下
 あり下め下く下も下程下あり下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下
 初下め下あり下あ下ら下松下ま下さ下し下ん下曼下あり下若下人下

翠帳紅圍乃新し昔を
 馬の古寺の舊跡あり晨鐘夕
 梵響響たゆことありウチ響ウチ響
 あまふなるとしをたづねて梅の
 ちわつとさきさき一糸へ諸女の平
 子松梅のチ天神乃が自愛チ紅
 梅殿も若松も皆事社に現し給り

漢家徳と顯り唐の帝乃時を
 國の文學早しとあれ花乃地色地ま
 多し常より増えたる文學チのチ書
 百ひもなチ具チも深チく梅チを文
 を好む本あり多しと梅チを好文本
 とりけられたるチ松チをチ又チとチり

此書之發行也清室も紀と神
 詭乃づまを志くはる松所も梅色
 びーもまうりめたきれ

右之本者觀世太夫織部以章句
 真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷
 明治廿六年二月同日訂正出版
 明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目壹番地
 宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區二条通御幸町西
 兼印刷者 檜常之助



